

当学院  
**ケント英会話学院**  
 新浦安校に取材に  
 いらっしました！

# 日本経済新聞 (2015.02.07 夕刊) の一面に

みんなの

## 速読英語

# が取り上げられました

今後、英語教育や入試が大きく変革します。  
 そのような中、注目されている英語学習の一つとして『速読英語』が紹介されました！

今回、取材に協力いただいた

『速読英語』体験者の声(一部)



教科書に向かい合うときの堅苦しさがなく、  
 感覚的に英語が頭の中に入ってきておもしろい



英語を捉えやすくなり、読みやすくなった



続けると(長文読解の)力がついてよさそう

※取材(体験授業)の様子

1 つめの単元はみんなで一緒に説明を聞きながら、その後の単元は自分のペースでトレーニング。単元が進むにつれて自ら意欲的に取り組んでいる姿がみられました。紙で長文読解を続けることは苦痛な生徒でも、e-learningだと負担感なく演習量を増やせているようでした。



みんなの

## 速読英語

# とは、長文読解に強くなるためのトレーニングです。

**語彙**

長文中の語彙を知らないと読み進められない

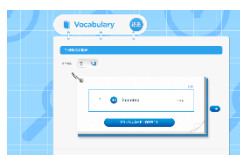
**スピード**

早く前からテンポよく読まないと解き終わらない

**演習**

長文になれてない読み進めろクセがついていない

語彙、スピード、演習のそれぞれの力を上げて長文読解に強くなる！



**1** 長文の中に出てくる単語を学習。和訳選択問題でできるまで繰り返し学習！



**2** 自分の読むスピードと理解度を確認。しっかり内容をつかむ！



**3** 自分の読む速度引き上げる速読メソッド。スラッシュリーディングで前から読む癖を！



**4** かたまりを意識して速く正確に読むようにしながら復習！

**さらに**

長文を音声で確認。2倍速でしばらく聞いた後に通常の速度に戻すと聞き取りやすく！



# 子どもも英語いっしょ

教育各社が多様な英語教育のサービスを始め、学研ホールディングスが4月に独自のアニメーションで英語を学ぶ幼児教室を50カ所開くほか、小学生の短期留学や英語での楽器レッスンを提供する企業もある。文部科学省は2020年度にも英語を話す能力を問う大学入試を導入するとともに小学3年から必修とする方針。各社は身につく英語学習法を求め、親の教育熱にこたえる。

## 幼児教室 アニメ活用 楽器レッスンと一緒に タブレットで速読習得



タブレットを使ったeラーニングで英語の速読力を養う（6日、千葉県浦安市のケント英会話学院）

### 小3から必修化想定

幼児が英語に慣れる教室を開く。1回50分、月3回、親と子が一緒に通う。「先生が通り一遍に教える方法だと、なかなか英語に親しめない（同社）とい、楽しく続けられる教室に対する親のニーズは高い。自宅でもアニメをダウンロードして教室と同じように学ぶ。教材の費用を含めた月額受講料は7600円。2万人の新規会員の獲得を目指す。楽器の家庭教師を派遣しているエルパ（東京・港）は英語でピアノやバイオリンのレッスンを提供する新サービスを首都圏で始めた。3歳から小学生

英語教育が多様化している	
● 小学館集英社プロダクション（東京・千代田）	昔話を使い英語を学ぶ子ども教室を4月に全国400カ所で開始
● 学研ホールディングス	アニメーションを使った教室を全国で展開
● イチベル（横浜市）	発音や抑揚がネイティブに近いかを3段階で判定するITサービス
● SRJ（東京・港）	eラーニングで速読力を養う学習プログラム
● エルパ（同）	英語でピアノやバイオリンのレッスン提供

利用を見込む。英語で教えられる登録講師を増やし、17年をメドに関西、東海、九州の主要都市にも広げる。多くの習い事で忙しい子どもが増えており、親から「英語も一緒に学ばせたい」という声も寄せられた（島貫歩美代表）という。グローバル人材を育てる文部科学省の方針に沿って、20年度には大学入試のセンター試験が「大学入学希望者学力評価テスト」（仮称）に切り替わ

る見通し。英語は「読む、聞く、書く、話す」の4つの能力を問う。こうした能力を高めるためIT（情報技術）を活用する動きも一段と広がる。住友商事と教育大手のウィザスが共同出資するSRJ（東京・港）は速読法の習得に特化したeラーニングを展開する。小中高生がパソコンやタブレット（多機能携帯端末）で長文を素早く読解する力を養う。1回あたり約30分の受講。今春から全国300の学習塾に導入する方針だ。教材として試験的に取り入れたケント英会話学院の新浦安校（千葉県浦安市）。タブレットに順次、映し出される英文を目で追う練習をしていた鎌田大智さん（14）は「教科書に向かい合うときの堅苦しさがなく、感覚的に英語が頭の中に入ってきておもしろい」と笑顔を見せた。

ベルリッツ・ジャパン（東京・港）は7月から小学生が米国やシンガポールで1〜2週間の海外体験をする留学事業を始める。同社は「一度海外に行く、その後の英会話などの学習意欲が格段に高まる」とみる。価格年度比3%増の980億は32万〜70万円。米国で円と予想している。

ポーツ体験と英語学習を組み合わせたプランを提供する。矢野経済研究所（東京・中野）は、中学生までの子ども向け英会話教室の14年度の市場規模を前年度比3%増の980億